

令和7年度事業報告

令和7年度の事業報告は、前年度に策定しました5カ年計画の進捗を中心に説明します。5カ年計画は、①財務の黒字転換、②郡山学院高等専修学校(以下、学院と称す)の高校化、③人材育成、④ケイセンビジネス公務員カレッジ(以下、ケイセンと称す)校舎の改修の4項目から成り立っています。まず①の黒字化ですが、収益力の高いケイセンの新入生が昨年に続き増加しました。広報の努力に加え学院からの進学者が大幅に増えたことによります。高・専連携の強みを生かし、高い学生満足度を図り、次年度以降も学院からの進学者増につなげます。外部の高校生等に対する営業活動も前年度以上に実施しました。公務員上級学科募集対策はさらに工夫します。ケイセンは2年課程進学者が増えたので、この点も財務的に改善されました。学院は、2年連続で募集定員をクリアしました。広報の努力により第一回の入試で定員の約2割増しの出願がありました。結果、次年度は総定員の96%充足でのスタートとなります。学院の1年生は1名の退学者にとどまりました。今後も“誰ひとり取り残さない”学校を目指します。新学科の構築は未達でした。研修センターは、関係機関との諸手続きをすませ4月開校となりました。②の高校化は、年度末に定時制高校認可申請に漕ぎ付けました。順調にいけば令和10年度開設となります。③の人材育成は、次年度から各学校に担当管理職を増員して対応します。やりがい、働き甲斐を感じられるような職場環境づくりのための施策を講じます。なお、早期退職者の多かったケイセンの退職者は実質的にゼロでした。④のケイセン改修は、全てのトイレの洋式化を済ませ、校舎内の壁の塗り直しを大部分済ませました。これにより校舎の美化が向上し、学生の満足はもちろんオープンキャンパスや研修センターにも効果があるものと思います。防災教育については、ケイセンは全学科の学生、学院では2年生が取り組みました。

以下は、令和7年度に本学が行った具体的な事業の説明となります。